

①大西俊弘さんのパズル 西三数学サークル通信特別20号

L字型のピースで敷き詰めるパズル。

2倍体、4倍体、8倍体を作る。

2.5センチ角の角材を使って製作した。

おまけとして9辺の

L字を使って、1片が

3の立方体を作るのも

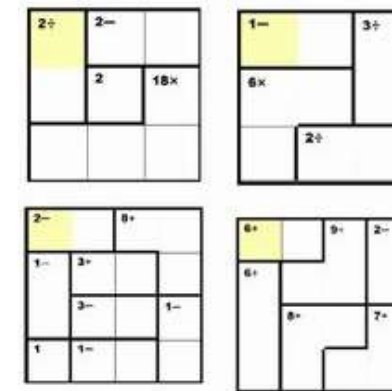
楽しい問題である。



1倍体から2倍体



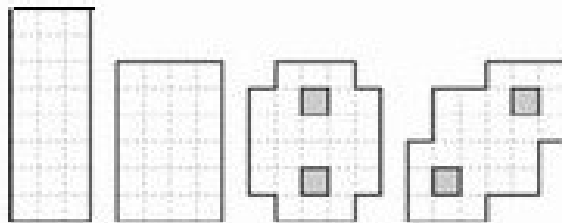
問題



②ミラー24 小田原充宏 <http://www.torito.jp/puzzles/hakozume.shtml>

市販されていないようなので、2.5センチ

角の角材を使って製作した。



④ どこでもパズル

<http://www.torito.jp/puzzles/hakozume.shtml>

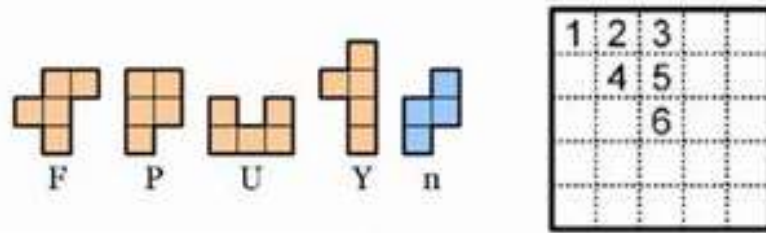
24は $5 \times 5 - 1$ なので 5×5 に入れる（すき間1単位）という問題で遊べるわけですが、そのすき間位置候補は右図の ように6カ所あります（両面型の場合）。

このパズルは、その6カ所のすき間がどこの場合でユニーク解（1解）となります。

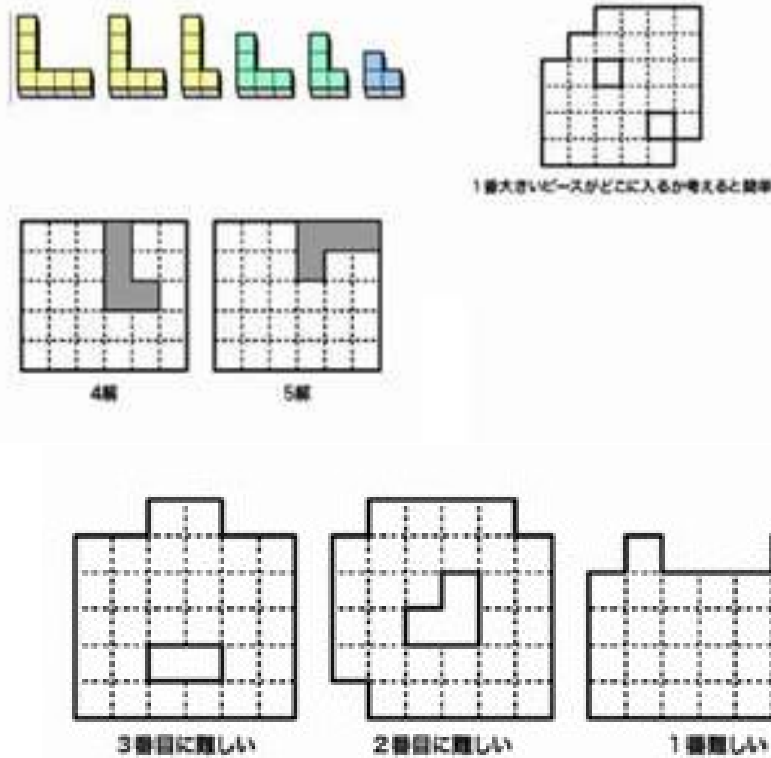
③KenKenパズル <https://www.kenkenpuzzle.com/>

遊び方

1. 枠内の縦横同じ列には同じ数字が重複しないよう1つずつ入る。
2. 枠の行数と同じ数までの数字が縦横各列に入る。
3. あらかじめ記された数字と加減乗除の記号は、太線で区切られた空間内に入る数字の全てを加減乗除した結果。



⑤ L30 <http://www.torito.jp/puzzles/hakozume.shtml>



⑥ TetraPod 梶田さんのMathematicaによる作図
 日本国内で見かけることが多い四脚ブロック「テトラポッド」
 (商品名)は4本の脚が放射状に伸びた形のコンクリート製の消波ブロックである。1949年にフランスのネールピック社により発売されたもので、モロッコの火力発電所の護岸工事に用いられた。日本国内には、日本テトラポッド株式会社(現・不動テトラ)により1960年代頃から導入され普及した。ちなみにテトラ

ポッドとは、接頭辞である「テトラ」(4本)の足という意味であり、本来は「四肢動物」の意味である。

右の写真のものは、いろいろなサイズのものでAmazonで販売されていて、コンクリート製である。重さは1.5キロ
 オブジェとして、また熱帯魚の水槽に入れるらしい。



型枠賃貸料定価表 2 t 8500円 80 t 150000円
 生コン 16000円 C00000円
 テトラポッド 型紙で検索
 A4白ボール紙で型枠を作り、モルタルを流し込んで製作する



表題

()組()番 名前()

1 Title

